

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	27,700	1.7	2,140	0.4	2,251	0.4	1,213	4.2
2022年3月期第3四半期	27,225	1.6	2,132	0.5	2,242	3.4	1,164	9.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,626百万円 (11.0%) 2022年3月期第3四半期 1,465百万円 (2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	81.82	—
2022年3月期第3四半期	78.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	27,496	16,760	52.0	964.16
2022年3月期	25,339	15,373	52.0	888.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,301百万円 2022年3月期 13,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	0.5	2,200	6.2	2,330	5.1	1,200	2.3	80.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	15,180,000株	2022年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	347,297株	2022年3月期	347,250株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	14,832,748株	2022年3月期3Q	14,832,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、行動制限の緩和や社会行事の再開、外出マインドの高まりなどで持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢や欧米の金融引き締め、中国のコロナ対応などの影響による世界経済の景気後退懸念、また、国内におきましても物価上昇による実質所得の低下や企業コストの増大などから、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高277億円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益21億40百万円（同0.4%増）、経常利益22億51百万円（同0.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億13百万円（同4.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

住宅市場は、資材価格の高騰による建設コストの増加が住宅着工を抑制する要因となり、全国では持家、総数ともに前年を下回って推移しておりますが、賃貸物件や分譲マンションの着工が改善してまいりました。4月から12月までの新設持家着工戸数は全国で195,653戸（前年同期比12.5%減）、北海道で8,039戸（同19.9%減）と全国、北海道ともに前年を大きく下回っております。このような状況のもと、床下冷暖房システム「Air Volley」、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高88億2百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益7億88百万円（同5.7%増）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、引き続き同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。これらの結果、売上高170億89百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益13億87百万円（同1.8%増）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けており、売上高3億30百万円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益2億1百万円（同0.5%増）となりました。

（足場レンタル事業）

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、外国人実習生受け入れによる経費先行もあり、売上高5億88百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益53百万円（同21.9%減）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、本社改修による一過性の経費増加もあり、売上高8億89百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益17百万円（同51.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は274億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億57百万円増加しております。これは主に、売上債権が9億40百万円、商品が8億73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は107億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億71百万円増加しております。これは主に、買入債務が11億29百万円、未払法人税等が1億45百万円、その他の流動負債が1億28百万円それぞれ増加したことと、短期借入金が7億17百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は167億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億86百万円増加しております。1株当たりの純資産は964円16銭となり、前連結会計年度末に比べて75円28銭増加しております。

なお、自己資本比率は52.0%となっており、前連結会計年度末と比較して0.0ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2022年5月10日付「2022年3月期 決算短信」において発表しております2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,354,547	3,415,007
受取手形、売掛金及び契約資産	2,063,419	2,937,661
電子記録債権	255,303	321,473
商品	3,891,974	4,765,135
販売用不動産	98,690	152,270
仕掛販売用不動産	294,824	374,741
その他の棚卸資産	19,105	39,742
その他	108,845	107,142
貸倒引当金	△5,957	△4,195
流動資産合計	10,080,754	12,108,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,909,599	7,510,642
土地	2,868,584	2,838,302
その他（純額）	2,483,808	2,735,865
有形固定資産合計	13,261,992	13,084,810
無形固定資産		
のれん	36,106	9,026
その他	102,922	184,070
無形固定資産合計	139,029	193,097
投資その他の資産		
その他	1,876,725	2,126,800
貸倒引当金	△19,120	△16,694
投資その他の資産合計	1,857,605	2,110,106
固定資産合計	15,258,627	15,388,014
資産合計	25,339,382	27,496,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726,660	2,697,548
電子記録債務	397,517	556,205
短期借入金	2,867,000	2,150,000
未払法人税等	415,852	561,672
賞与引当金	185,006	246,801
その他	800,639	928,831
流動負債合計	6,392,676	7,141,058
固定負債		
長期借入金	2,120,000	2,072,500
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	304,669	333,912
資産除去債務	423,458	424,355
その他	696,027	736,051
固定負債合計	3,573,165	3,595,829
負債合計	9,965,842	10,736,887

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	11,360,252	12,381,064
自己株式	△133,001	△133,029
株主資本合計	12,855,029	13,875,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247,935	343,756
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	329,521	425,342
非支配株主持分	2,188,989	2,458,951
純資産合計	15,373,539	16,760,106
負債純資産合計	25,339,382	27,496,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	27,225,364	27,700,636
売上原価	19,398,761	19,586,001
売上総利益	7,826,602	8,114,634
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,332,481	2,395,695
賞与引当金繰入額	232,346	255,783
退職給付費用	28,319	45,685
貸倒引当金繰入額	5,056	860
その他	3,095,881	3,276,350
販売費及び一般管理費合計	5,694,085	5,974,375
営業利益	2,132,517	2,140,259
営業外収益		
受取利息	219	228
仕入割引	62,609	57,646
その他	62,084	71,478
営業外収益合計	124,913	129,353
営業外費用		
支払利息	11,886	10,580
その他	3,115	7,224
営業外費用合計	15,002	17,804
経常利益	2,242,428	2,251,807
特別利益		
固定資産売却益	5,343	9,088
事業譲渡益	40,000	—
受取保険金	—	203,817
特別利益合計	45,343	212,905
特別損失		
固定資産除売却損	205	356
災害による損失	—	63,850
特別損失合計	205	64,206
税金等調整前四半期純利益	2,287,566	2,400,506
法人税、住民税及び事業税	895,040	928,858
法人税等調整額	△61,707	△59,012
法人税等合計	833,333	869,846
四半期純利益	1,454,233	1,530,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	289,249	317,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,164,983	1,213,637

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	1,454,233	1,530,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,947	95,800
その他の包括利益合計	10,947	95,800
四半期包括利益	1,465,181	1,626,460
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,176,007	1,309,458
非支配株主に係る四半期包括利益	289,173	317,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,848,182	16,575,306	—	615,353	907,402	26,946,243
その他の収益	—	—	279,120	—	—	279,120
外部顧客への売上高	8,848,182	16,575,306	279,120	615,353	907,402	27,225,364
セグメント間の 内部売上高又は振替高	372,980	2,091	40,860	2,727	6,926	425,585
計	9,221,162	16,577,398	319,980	618,080	914,328	27,650,949
セグメント利益 又は損失(△)	746,184	1,362,828	200,705	68,384	35,578	2,413,680

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,413,680
セグメント間取引消去	△4,754
全社費用（注）	△276,408
四半期連結損益計算書の営業利益	2,132,517

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,802,128	17,089,537	—	588,652	889,952	27,370,270
その他の収益	—	—	330,365	—	—	330,365
外部顧客への売上高	8,802,128	17,089,537	330,365	588,652	889,952	27,700,636
セグメント間の 内部売上高又は振替高	393,572	1,942	36,460	2,861	2,036	436,872
計	9,195,700	17,091,479	366,825	591,513	891,988	28,137,508
セグメント利益 又は損失（△）	788,619	1,387,317	201,789	53,423	17,406	2,448,556

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,448,556
セグメント間取引消去	△1,557
全社費用（注）	△306,739
四半期連結損益計算書の営業利益	2,140,259

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。